

学研労協 NEWS ニュース

2024年学研労協旗開き 議長あいさつ

日頃より、学研労協の活動に、ご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

まず、能登半島地震により亡くなられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災された多くの皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

さて昨年は、急激な円安や物価上昇、電気代をはじめとする光熱費の高騰など、業務に大きな影響を与える事態が続く一年でした。つくばの研究所においても、光熱費節減のため恒温恒湿装置のように常時運転していた装置を停止しなくてはいけなくなったり、予算節減のため年度当初の予算配賦が大きく制限されるなど、業務遂行に大きな支障が生じました。

これに加え、今年は定年延長制度の開始や地域手当の見直しなど、様々な変化が予定されています。このように変化の大きい時代に職場環境をより良くしていくため、労働組合を通じた団結の力を通じ立ち向かっていきましょう。

このような中、学研労協では将来検討委員会を組織し、協議会を持続可能なものとするためのあり方について検討を行っております。財政問題や幹事の負担などの大きな問題はありますが、研究という共通する業務を持つ組織の労働組合の連携は今後も重要なものだと思いますので、関係する皆様にとって有意義な協議会とできるよう、皆様のお力添えをお願いいたします。

最後になりましたが、新型コロナウイルス感染所の5類移行という変化を踏まえ、今年の新春旗開きは久々に対面での開催が実現しました。今年は大変厳しい始まりとなりましたが、今後はこのような嬉しい変化が続くよう取り組んでいけましたら幸いです。

本年が皆様にとって健やかで実り多い年であることを祈念し、新春旗開きのあいさつといたします。

2014年学研労協旗開き開催報告

2024年1月17日（水）の夕方に、産総研中央食堂1階において2024年新春学研労協旗開きを開催しました。来賓を含め、12名が参加し、今年の抱負などを語り合いました。

来賓には、水戸翔合同法律事務所の丸山 幸司弁護士が出席して下さり、近年の労働組合が抱えている問題についてご説明くださいました。また、窪田前議長が出席して下さり、現在の常任幹事に向けて激励の言葉をかけてくださいました。その後、各単組から活動状況報告と今年の抱負が述べられました。コロナ禍で対面での開催は4年ぶりとなり、開催のノウハウも継承されていないなど、いくつかの問題もありましたが、無事に開催することができました。

来年にはより多くの研究者の方々に参加して頂き、苦しい研究現場の現状を打破するための議論ができるようにしたいと思います。（副議長：吾妻）